

小学生の部【大会記録 男子/3m25 女子/2m65】

競技者名	所属	学年	性別	記録	順位	備考
水野 汐莉	日吉台小	E4	女	1m85	1位	
佐藤 瑞葵	原小	E5	女	1m65	2位	
岡田 和樹	高花小	E5	男	1m65	3位	
北川 莉乃	村上小	E4	女	1m35		
田伏 真奈	花野井小	E2	女	1m35		
水野 稜介	日吉台小	E1	男	1m25		
佐藤 怜慈	原小	E3	男	1m05		

中学生男子の部【大会記録 4m35】

競技者名	所属	学年	性別	記録	順位	備考
高橋 昊真	東高津中	J3	男	4m05	1位	
廣田 拓己	西の原中	J2	男	3m55	2位	
川越 久海	西の原中	J2	男	3m35	3位	
齋藤 明久	大和田中	J1	男	3m05		
戸倉 欧汰	泉谷中	J1	男	2m95		
河野 晴太	西の原中	J1	男	2m75		
小松 士恩	大和田中	J2	男	2m65		
岩立 航汰	西の原中	J1	男	2m65		

中学生女子の部【大会記録 3m40】

競技者名	所属	学年	性別	記録	順位	備考
谷本 緒	西の原中	J2	女	3m05	1位	
飯田 栞	大和田中	J2	女	2m55	2位	
松本 七海	井野中	J1	女	2m35	3位	
神谷 帆美	七林中	J3	女	2m05		

高校・一般男子の部【大会記録 高校/5m10 一般/5m30】

競技者名	所属	学年	性別	記録	順位	備考
入交 隆太	日体大柏高	H2	男	4m35	1位	
皆川 旺佑	日体大柏高	H3	男	4m25	2位	
米山 遼	千葉敬愛高	H1	男	3m55	3位	
平野 雪斗	鎌ヶ谷西高	H1	男	3m35		
朱 家輝	千葉工大	U1	男	3m05		
佐藤 洋平	IPVA		男	2m35		

高校・一般女子の部【大会記録 3m70】

競技者名	所属	学年	性別	記録	順位	備考
齊藤 佳子	日体大柏高	H3	女	3m05	1位	
上野 裕菜	日体大柏高	H1	女	3m05	2位	
小出 遥珈	千葉敬愛高	H1	女	2m85	3位	

審 判 長 岩 井 浩

J T O

記 録 主 任 北 野 龍 也

記 録 担 当 審 判 員 鈴 木 禎 則

期 日 2025 年 3 月 15 日 (土) 開始時刻 : 終了時刻 :

陸協名 千葉 コード 1 2 競技会名 アイパークチャレンジ Vol. 49 コード

主催団体名 印旛ポールヴォールトアカデミー 競技場名 印西市立船穂中学校 多目的運動場 (アイパーク) コード

Table with columns: PV支柱移動, 試技順, ナンバー, 競技者名 (性別), 自己記録所属・学年, 試技記録 (1m05-2m15), 最高記録, 無効試技数, 順位, 備考. Rows 1-20.

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技...○、無効試技...×、失格...DQ、欠場...DNS、パス...-、試技放棄...r、記録なし...NM)

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school)で記入する。

注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例:2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の 3回目よりP」)。

競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

種目

棒高跳

(組) 記録表

P2

審判長 岩井 浩

期日 2025年3月15日(土)

開始時刻 : 終了時刻 :

J T O

陸協名 千葉 コード

1 2

競技会名 アイパークチャレンジ Vol.49

コード

記録主任 北野龍也

主催団体名 印旛ポールヴォールトアカデミー

競技場名 印西市立船穂中学校 多目的運動場 (アイパーク)

コード

記録担当審判員 鈴木禎則

Table with columns for PV, 試技順, ナンバー, 競技者名 (性別), 自己記録所属・学年, 試技 (1m85 to 2m95), 最高記録, 無効試技数, 順位, 備考. Rows 21-40.

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技…○、無効試技…×、失格…DQ、欠場…DNS、パス…一、試技放棄…r、記録なし…NM)

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school)で記入する。

注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例:2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。

競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。

審判長 岩井 浩

J T O

記録主任 北野龍也

記録担当審判員 鈴木禎則

期日 2025年3月15日(土)

開始時刻 : 終了時刻 :

陸協名 千葉 コード 競技会名 アイパークチャレンジ Vol.149 コード

主催団体名 印旛ポールヴォルトルアカデミー 競技場名 印西市立船穂中学校 多目的運動場 (アイパーク) コード

P V 支柱移動	試技順	ナンバー	競技者名 (性別)	自己記録 所属・学年	試 技												最高記録	無効 試技数	順位	備考										
					1m85	1m95	2m05	2m15	2m25	2m35	2m45	2m55	2m65	2m75	2m85	2m95														
					3m05	3m15	3m25	3m35	3m45	3m55	3m65	3m75	3m85	3m95	4m05	4m15														
	41	3521	皆川 旺佑 男	4m80 日体大柏高 H3															4m25			高一男2								
	42																													
	43																													
	44																													
	45																													
	46																													
	47																													
	48																													
	49																													
	50																													
	51																													
	52																													
	53																													
	54																													
	55																													
	56																													
	57																													
	58																													
	59																													
	60																													

審判長記入欄

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技...O、無効試技...X、失格...DQ、欠場...DNS、パス...-、試技放棄...r、記録なし...NM)

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。例) 2005年生まれ → (05) 注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school)で記入する。

注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例:2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。

競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。
記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。